



▲町公式LINE



▲オープンチャット



冬 は西川町にとって大変な季節と
思っていました。楽しく何をするか考
えると、人も集まり、報道も増えるのだな
と感じています。今回のテーマは「雪」。

■対話会、講演の機会をいただき、民
間や市町村から依頼がたくさん！

昨年の睦合、間沢、入間、水沢、本道寺、大
井沢に続き、今年に入り、吉川、海味、沼山
網取、岩根沢の皆さまと対話会させていた
だきました。やはり対話会は、皆さまの思い
や心配していることを直接把握し自分事に
できる、また皆さまの特技やすっぴんことな
どをお聞きできて、ワクワクして元気がでま
す。網取区のいきいきクラブに参加すること
を決めたりと、お誘いいただけ嬉し
いです！

また、内閣官房、熊本県、西村山地区歯科
医師会、山形県宅建協会からの講師依頼も
あったりと、町政に注目いただいていること
を嬉しく思います。

■最近、嬉しかったこと

①西川町ゲートボール大会に伺いました。
笑顔で白熱した、真剣勝負を見て、
心が温まりました。優勝した小
山チーム、準優
勝の岩根沢チー
ム、おめでとうご
さいませ。
②マイナンバーカー
ド交付率が、全
国で12位となり
ました。やればあ
り得る！ことを



し、作業を楽しく
している姿を見て、
役場職員も町民の
皆さまとの交流を
重ね、一度、福岡に
戻った学生が再び
町に来てくれました。
た。さらに、それが
報道されたことで、
これを見た山形市
の建設会社が除雪
ボランティアにお
越しいただくこと
になりました。こん
な動きにつながるとは思いませ
んでした。やっ
てみないと何が起
こるかわかりませ
ん！



(4) 気象庁への要請は却下されるも
「かくれ豪雪・日本一」で報道！

月山志津温泉は、日本一の豪雪地で有名
な酸ヶ湯を超える豪雪と言われながら、日
本一でないのは、気象庁の観測地点がな
いからです。気象台長
に、観測地点の移
設などを要望しま
したが、「気温・雨
量などの過去の観
測データもあり安
易に移設できない」と
いう回答でした。
しかし、これまで
の広報が功を奏し、
テレビ局が次々と
当町を訪問してく
れています！
また、気温差1



役場職員も気づいてくれたと思います。

■テーマは「雪」

西川町の除雪は、きれいに除雪されてお
り、自信をもっているものだ改めて感じて
います。夜明け前からの作業、大変な中、あ
りがとうございました。

(1) 高齢者向け除雪支援！支援内容
を拡大する方向で見直します！

高齢者向け除雪支援制度は、私の就任前
から縮小することが決まっていました。
①補助上限：制限なし↓10万円まで
②対象：65歳以上の方がお住まいで、所得
税非課税世帯↓住民税非課税世帯
このような制限をしたのは、昨年度、補助
の上限を示さなかったため、不正の疑いのあ
る事案がありました。これを機に現在の制
度を変更したと聞いています。
しかし、支援を受けられない方が増えた
という意見を多数いただきました。早速、担
当課と話し合い、来年度からは、不正請求を
防ぎながら、「除雪できない」をできるだけ
多く支援できるように見直しを図ります。声
を上げてくださり、ありがとうございますまし
た。

(2) 東武トップツアーズ(株)内定者26
名が豪雪地を研修地に！

連携協定の証として、大手旅行会社・東
武トップツアーズ(株)(東京都)内定者研修を
西川町で4日間開催。この動きを役場だけ
でなく、月山志津温泉、海味第3町内会、ド
リームクラブさんと取り組みました。内
定者はお揃いの黄色いジャンパーに身を包
み、雪旅籠の制作支援、海味での除雪支援を

(5) 小学6年生のすっぴんことが
間沢スキー場で実現！

00度の豪雪サウナツアーも120名の定
員がほぼ完売し、豪雪を活かした観光商品
として人を呼び込めることも確認できまし
た！

(6) 雪像ガッさんや灯りで元気な
町に！

年末、西川小6年生より「人が減って元
気がなくならないよう、雪像をつくって町を
盛り上げたい」との話をいただきました。そ
れを実現に動いたのが、保護者を中心を集
めた「すっぴんこと実現委員会」。その会
と役場職員、小学校職員、地域おこし協力
隊へとなぎ、さまざまな方々の協力を得
て、間沢スキー場に、そり滑りコースやト
ロヤガッさんの雪像、台湾の方々の来日を
歓迎する雪像が誕生！子供たちにとって思
い出深いものとなっただけでなく、「まず
やってみよう！」の前向きな意識とそれに町
民が呼応した結果
です。間沢スキ
ー場を訪れた台湾師
範大学OBの皆さ
まも感激！人は、
自分のためにど
だけ時間を使っ
てくれたか、ど
れだけ気にか
けてくれたか
に感動するの
だから、愚直に「利
他」の精神で取
組んでいこうと誓
いました。



チームで行いました。町側も内定者に感謝
状の贈呈、お見送りなどを行い、ドリームク
ラブさんに納豆汁などを振舞っていただき
ました。みんなの思いが伝わり、研修に駆け
付けた百木田社長は「来年も必ず実施する」と
約束いただきました。また、「狙い通り、雪
旅籠制作や除雪を通じてチームプレイの実
践ができました。おかげさまで『旅行業は感
動を創出できるやりがいのある仕事』を内
定者が体感できました。」とのレターもいた
だきました。この町には、ご紹介したい方々
がたくさんいます！徐々に、この動きに町民
の皆さまを巻き込んでいきたいです。



(3) 除雪をする地域おこしインターン
生43名が西川町に！

「除雪をするために西川に来てくれる人
を募集します！」という政策を掲げたとき
懐疑的な意見も寄せられました。しかし、公
募した結果、地域おこし協力隊の短期(2週
間)インターン生として、全国から43名が応
募。福島・金山町から来た即戦力もおりま
すが、ほとんどの方が除雪初心者です。しか

灯り、今年は、金・土・日・祝日はだれでも
楽しむことができます。国道を通る方々に
対してCASEや役場の有志が中心とな
って、睦合公園にガッさんや、国道沿いに
灯りを灯す活動を行い、冬でも元気な町だ
ぞ！とPRしています！



このように、雪を活かす！と前向きにと
らえれば、人やお金を呼び込むほか、町民
の皆さまも楽しむこともできるのではない
でしょうか？当然、ご苦労されている方には
支援が必要です。来年度は、除雪支援を拡大
する方向で見直し、今年度の動きのほか、雪を
売ることも挑戦してみたいと思います！
また、町職員も徐々に意識が変わり、町
のおもてなしに感動して、西川のために何かし
たい！とい
う方がほと
んどという
状況は、「誇
り」であり
「光」です。

